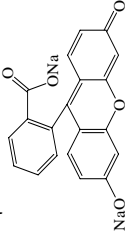
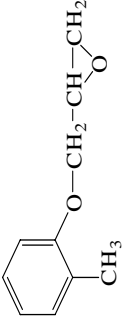
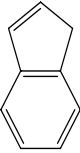
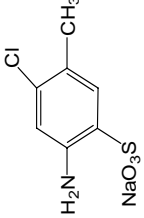
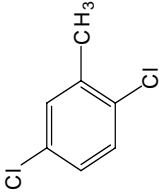
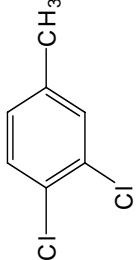
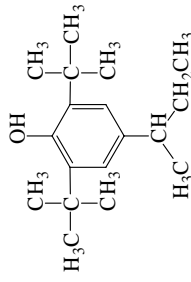


平成20年7月 既存化学物質点検 (分解・蓄積) 結果資料 (第77回審査部会)

資料2-1

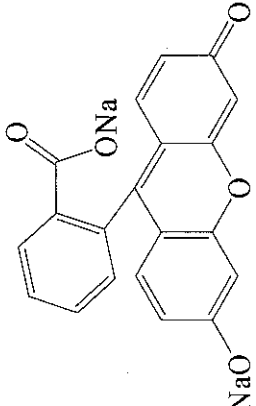
K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 (0)内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1825	ジナトリウム=2-(6-オキシンド-3-オキソン-3H-キサンテン-9-イル)-ベンゾアート (518-47-8) 5-673 5-1416 	BOD : -2, 0, 1 (0) *1 TOC : 0, 1, 1 (0) HPLC : 1, 1, 1 (1)	有機物質の塩であるため測定不可 -0.67*2	1区 : 0.27倍以下 2区 : 2.7倍以下 脂質含有率 開始前 2.94% 終了後 4.14%	難分解性 高濃縮性ではない	なし	1
1827	〔(2-メチルフェノキシ)メチル]オキシラン (2210-79-9) 3-0574 	BOD : -3, -3, -2 (0) *1 TOC : 2, 3, 1 (2) HPLC : 91, 91, 90 (90) 被験物質の大部分が加水分解して、3-(2-メチルフェノキシ)-1,2-プロパンジオールを生成し、残留した。	2.28 (フラスコ振とう法) 2.16*2	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	4
1828	1H-インデン (95-13-6) 4-0580 	BOD : -6, -6, -4 (0) *1 HPLC : 0, 1, 1 (1)	3.02 (フラスコ振とう法) 3.25*2	分配係数から類推	難分解性 高濃縮性ではない	なし	7
143B	4-アミノ-2-クロロトルエン-5-スルホン酸ナトリウム (6627-59-4) 3-2024 	審議済 (難分解性) (平成19年10月26日) BOD : 0, 0, 2 (1) HPLC : -2, -1, -1 (0)	-	1区 : <3倍 2区 : <24倍 脂質含有率 開始前 8.2% 終了後 7.0%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	10
1201C	2,5-ジクロロトルエン (19398-61-9) 3-0078 	審議済 (難分解性) (平成19年10月26日) BOD : 0, 0 (0) GC : -2, -5 (0) Closed bottle法	3.83*2	1区 : 1190倍 2区 : 1160倍 脂質含有率 開始前 5.6% 終了後 6.0%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	12
1201D	3,4-ジクロロトルエン (95-75-0) 3-0078 	審議済 (難分解性) (平成19年10月26日) BOD : 0, 0 (0) GC : -3, 1 (1) Closed bottle法	3.83*2	1区 : 1100倍 2区 : 866倍 脂質含有率 開始前 6.1% 終了後 6.6%	(難分解性) 高濃縮性ではない	なし	15

K番号	物質名 (CAS No.) [PRTR番号] 官報公示整理番号	分解度(%)	分配係数 (log Pow)	濃縮倍率	判定案 0内は既判定	後続の試験案 (試験の種類, 試験物質)	頁
1760	2, 6-ジ-tert-ブチル-4-sec-ブチルフェノール (17540-75-9) 3-0540 	審議済(難分解性) (平成18年7月21日) BOD: -1, -1, -1 (0)*1 HPLC: 3, 2, 1 (2) 被験物質の一部が試験液から 炭酸ガス吸収剤に移行した。	6.43*2	1区: 32000倍 2区: 33000倍 脂質含有率 4.16% 開始前 5.34% 終了後	(難分解性) 高濃縮性	なし	18

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v1.67 SRC-LOGKOW for Microsoft Windowsによる計算値

*3 フラスコ振とう法による予備値

整理番号 K-1825 (5-673、5-1416)	事業対象年度 平成19年度	分解度試験	分解度試験	分解度試験
ジナトリウム2-(6-オキシンド-3-オキシンド-3#キサンテン-9-イル)-ベンゾアト [別名 アシッドエロー-73] (518-47-8)	19.10.3~20.2.1	試験期間 19.10.3~20.2.1	試験期間 . . . ~ . . .	契約 年月日
構造式(示性式)・物理化学的性状	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 (標) ・ 揮	試験装置 (標) ・ 揮	試験期間 . . . ~ . . .
 <p>分子式 $C_{20}H_{10}Na_2O_5$ 分子量 376.27</p>	試験濃度 100 mg/L	試験濃度 mg/L	試験濃度 mg/L	被験物質
	試験汚泥 30 mg/L	試験汚泥 mg/L	試験汚泥 mg/L	被験物質
純度*1 92.1%	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
不純物*1 (物質名, 含有率) 残り 7.9%は不明	試験結果 BOD -2, 0, 1 (0)%	試験結果	試験結果	試験結果
融点 測定不可 (黒色に変化)	試験結果 TOC 0, 1, 1 (0)%	試験結果	試験結果	試験結果
沸点 測定不可 (黒色に変化)	試験結果 HPLC 1, 1, 1 (1)%	試験結果	試験結果	試験結果
蒸気圧 3.18×10^{-5} Pa 以下 (気体流動法, 80°C)	審査部会 第77回	審査部会 第77回	審査部会 第77回	審査部会 第77回
密度	20年 7月25日開催	20年 7月25日開催	20年 7月25日開催	20年 7月25日開催
LD50	判定	判定	判定	判定
IRチャートの有無 (有) ・ 無	備考	備考	備考	備考
用途	1. 回収率 (水+被験物質)系 98.4% (汚泥+被験物質)系 99.0%	2. 実施機関 ・ 財団法人 化学物質評価研究機構	3. 特記事項 ・ 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
生産量*2 (16年) 未公表				
試料 購入先 東京化成工業				
経済産業公報発表年月日				

*1 HPLCによる。 *2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。

濃縮度試験	事業対象年度	平成19年度	濃縮度試験	毒性試験
試験期間	19.10.1 ~ 20.2.7	試験期間	依	年月日
試験装置(標・揮)	LC50値 >200 mg/L(96hr)魚種(ヒメダカ)	試験装置 標・揮	類	
水槽設定濃度 (mg/L)		LC50値		
		mg/L(hr)魚種()		
		水槽設定濃度 ()		
		被験物質	分散剤	
第1濃度区	0.46			
第2濃度区	0.046			
第3濃度区				
濃縮倍率	脂質含有率	開始前	開始前	% 魚種()
		終了後	終了後	% 魚種()
6日後	9日後	13日後	21日後	28日後
水槽濃度 (mg/L)	0.462	0.459	0.460	0.462
倍率	≤0.27	≤0.27	≤0.27	≤0.27
	≤0.27	≤0.27	≤0.27	≤0.27
水槽濃度 (mg/L)	0.0459	0.0457	0.0461	0.0457
倍率	≤2.7	≤2.7	≤2.7	≤2.7
	≤2.7	≤2.7	≤2.7	≤2.7
水槽濃度 ()				
倍率				
審査部会 第77回	20年 7月 25日	開催	審査部会 第	年月日 開催
判定結果			判定結果	
備考			備考	
[ばく露期間中における濃縮倍率]	第1濃度区 0.27倍以下			
	第2濃度区 2.7倍以下			
[回収率]	[定量下限濃度]			
試験水* 100%	試験水	第1濃度区 11 µg/L		
		第2濃度区 1.1 µg/L		
供試魚 93.8%	供試魚	120ng/g		
[実施機関]	財団法人 化学物質評価研究機構			

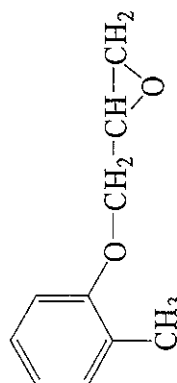
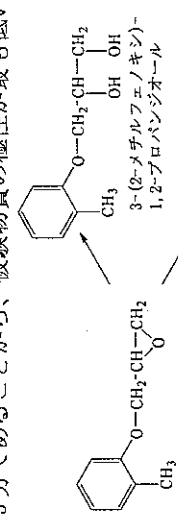
*試験液を直接分析機器に導入。

K-1825の類似物質表

化合物名 (CAS番号)	構造式	官報公示 整理番号 (K-番号)	分解度 (%)	分解 判定 (年)	分配係数 (log Pow)	LC50 mg/L (ヒメダカ)	濃縮倍率	濃縮 判定 (年)
3,3-ビス(<i>p</i> -ジメチル アミノフェニル)-6-ジ メチルアミノフラト (1552-42-7)		5-0129 (K-1338)	標準(4W) 1997年実施 BOD 0, 0, 0 (0) HPLC 0, 4, 0 (1)	難分解性 (1997)	1999年実施 5.27 (フラスコ脱油)	>80.0 (48hr)	1999年実施 1区(50µg/L): 500~1300 2区(5µg/L): 636~1670 脂質含有率 4.1%	高濃縮性 ではない (1999)
2-(3-エチルイミノ オ-6-ジエチルアミノ- 3 <i>H</i> -キサンテン-9-イ ル)安息香酸=クロリド (3375-25-5)		5-1973 5-4056 (K-847)	標準(4W) 1987年実施 BOD 0, 0, 0 (0) TOC 3, 2, 0 (2) VIS(555nm) 8, 8, 5 (7)	難分解性 (1987)	1987年実施 1区(100µg/L): <0.2 2区(10µg/L): <1.7 脂質含有率 3.9%	33.9 (48hr)		高濃縮性 ではない (1987)
3',6'-ビス(ジエチル アミノ)-スピロ[イソ ベンゾフラン-1(3 <i>H</i>), 9'-[9 <i>H</i>]キサンテン]- 3-オン (509-34-2)		5-3090 (K-1762)	標準(4W) 2005年実施 BOD -3, -2, -2 (0)*1 TOC 2, 0, 3 (1) HPLC 1, 1, 1 (1)	難分解性 (2006)	6.63*2			
ジナトリウム=2-(6- オキシド-3-オキソ- 3 <i>H</i> -キサンテン-9- イル)-ベンゾアト (518-47-8)		5-1416 (K-1825)	標準(4W) 2008年実施 BOD -2, 0, 1 (0)*1 TOC 0, 1, 1 (1) HPLC 1, 1, 1 (1)		測定不可	>200 (96hr)	2008年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(0.46 mg/L): ≤0.27 2区(0.046mg/L): ≤2.7 脂質含有率 開始前 2.94% 終了後 4.14%	
3-(<i>N</i> -シクロヘキシ ル- <i>N</i> -メチルアミノ)- 6-メチル-7-アエリ ノフルオラン (55250-84-5)		5-3631 (K-1655)	標準(4W) 2003年実施 BOD -8, -6, -3 (0)*1 HPLC 0, 0, 0 (0)	難分解性 (2003)	8.60*2	>15.0 (96hr)	2005年実施 定常状態における濃縮倍率 1区(10µg/L): 2400 2区(1µg/L): 2500 脂質含有率 開始前 2.58% 終了後 3.80%	高濃縮性 ではない (2005)

*1 分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。

*2 Kowwin v 1.67 による計算値。

整理番号 K-1827 (3-0574)	分解度試験	分解度試験	分解度試験
[(2-メチルフェノキシ)メチル]オキシラン	事業対象年度 平成19年度	契約年月日	契約年月日
(2210-79-9)	試験期間 19.11.7~20.3.6	試験期間	試験期間
構造式 (示性式)・物理化学的性状	試験装置 (標)・揮	試験装置 標・揮	試験装置 標・揮
 <p>分子式 C₁₀H₁₂O₂ 分子量 164.20</p>	試験濃度 100 mg/L	試験濃度 mg/L	試験濃度 mg/L
	汚泥 30 mg/L	汚泥 mg/L	汚泥 mg/L
純度*1 92.4%	本試験期間 4週間	本試験期間 週間	本試験期間 週間
不純物*1 (物質名, 含有率)	試験結果	試験結果	試験結果
残り 7.6%は不明	BOD -3, -3, -2 (0)%	間接	間接
融点 測定不可 (融点は-100~25℃に存在しない)	TOC 2, 3, 1 (2)%	試験結果	試験結果
沸点 測定不可 (210℃以上で変化)	HPLC 91, 91, 90 (90)%	直接	直接
蒸気圧 8.15×10 ⁻¹ Pa (20℃)	審査部会 第77回	審査部会	審査部会
密度	20年 7月25日開催	年月日開催	年月日開催
LD50	判定	判定	判定
IRチャートの有無 (有)・無	備考	備考	備考
用途*2 合成樹脂、脱水剤、乾燥剤	1. 回収率* (水+被験物質)系 100% (汚泥+被験物質)系 100%	※試験液を直接分析機器に導入。	・被験物質は試験液中で加水分解し、被験物質の残留率は9~10%で、3-(2-メチルフェノキシ)-1,2-プロパンジオール(局方, log Kow = 1.41*3)が生成し、(汚泥+被験物質)系で78~82%残留した。(汚泥+被験物質)系では構造不明の変化物Aが2%生成し、残留した。また、HPLCクロマトグラム上の保持時間は被験物質、変化物A及び3-(2-メチルフェノキシ)-1,2-プロパンジオールの極性が最も低い。
生産量*2 (16年) 製造及び輸入 10,000~100,000 t未滿	2. 実施機関	・財団法人 化学物質評価研究機構	 <p>変化物A</p>
試料 購入先 Aldrich Chemical	3. 特記事項	・分解度の平均値が負の値に算出されたため、0と表記した。	
経済産業公報発表年月日			

*1 Aldrich Chemical 添付資料による。 *2 化学物質の製造・輸入量に関する実態調査による。 *3 Kowwin v 1.67 による計算値。